

# まえがき

平成31年度の大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）は、平成31年1月19日、20日（追・再試験1月26日、27日）に172の全ての国公立大学と531の私立大学、149の公私立短期大学が参加して実施されました。受験者数は546,198人で、試験は多くの関係者の方々の御協力により終えることができました。

独立行政法人大学入試センターでは、センター試験の問題評価を行うために、試験問題評価委員会を設置しております。当委員会は、各都道府県教育委員会等から推薦された高等学校教員から成る外部評価分科会と、試験問題を作成した教科科目第一委員会委員から成る自己点検・評価分科会の二つの分科会で構成され、それぞれに分科会長を置いております。

試験終了後、センター試験で出題された試験問題の内容、程度、出題方法等について、まず、外部評価分科会が評価を行い、また、これとは別に例年のとおり、各試験科目に関連が深い関係教育研究団体からも意見・評価をいただいております。

このたび、これらの意見・評価に対する自己点検・評価分科会の見解を付して、「平成31年度大学入試センター試験 試験問題評価委員会報告書」を作成いたしました。本報告書の内容は、今後のセンター試験の問題作成に寄与することはもちろん、各大学における入学試験問題作成の参考にもなると考えております。また、高等学校における各科目の教育の参考資料としても御活用いただければ幸いです。

大学入試センターとしては、今後とも過去の試験結果等を十分に分析、研究するとともに、本報告書に掲載されている意見をはじめ各方面から寄せられた意見を参考にして、より良質な試験問題の作成に取り組んでいく所存であります。

各位の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成31年3月

独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括官  
試験問題評価委員会委員長 大津 起夫